【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公開番号】特開2016-161718(P2016-161718A)
【公開日】平成28年9月5日(2016.9.5)
【年通号数】公開・登録公報2016-053
【出願番号】特願2015-39428(P2015-39428)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/08　　３４８Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成30年2月28日(2018.2.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
現像剤を収容し、開口から現像剤を排出可能な容器と、
前記開口を封止する封止部材と、
回転可能に支持され、前記封止部材を前記容器から剥離することにより前記開口を開封するための開封部材と、
前記封止部材と前記開封部材に挟まれる位置関係で、前記開封部材の取り付け部に取り付けられるシート部材とを有し、
前記封止部材は、前記現像剤を担持する現像剤担持体と接する当接面を有し、
前記シート部材は、前記封止部材が前記容器と接する際に、前記封止部材の前記当接面と反対側の面と接することを特徴とする現像剤容器。
【請求項２】
前記封止部材は、前記シート部材に対して前記開封部材の回転方向の下流側に位置することを特徴とする請求項１記載の現像剤容器。
【請求項３】
前記封止部材と前記シート部材とは、重ね合わせて前記取り付け部に取り付けられていることを特徴とする請求項１又は２記載の現像剤容器。
【請求項４】
前記開封部材が回転することにより、前記封止部材が前記開口の縁部に繰り返し接したり離れたりすることを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の現像剤容器。
【請求項５】
前記封止部材の取り付け部から前記封止部材の自由端までの距離は、前記シート部材の取り付け部から自由端までの距離よりも長いことを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の現像剤容器。
【請求項６】
前記開封部材の回転軸の上方に前記開口が位置することを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の現像剤容器。
【請求項７】
前記容器の内部に前記開封部材が設けられていることを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の現像剤容器。

【請求項８】
前記容器が可撓性容器であることを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の現像剤容器。
【請求項９】
現像剤を収容し、開口から現像剤を排出可能な容器と、
前記開口を封止する封止部材と、
回転可能に支持され、前記封止部材を前記容器から剥離することにより前記開口を開封するための開封部材と、
前記開封部材の取り付け部に取り付けられるシート部材と、を有し、
前記封止部材は、前記開封部材が回転した際に、他の部分と接する当接部を有し、
前記シート部材は、前記封止部材が他の部分と接する際に、前記封止部材の前記当接部と反対側の部分と接することを特徴とする現像剤容器。
【請求項１０】
前記封止部材は、前記シート部材を覆うことを特徴とする請求項９記載の現像剤容器。
【請求項１１】
前記封止部材の取り付け位置から自由端までの長さは、前記シート部材の取り付け位置から自由端までの長さより長いことを特徴とする請求項９又は１０記載の現像剤容器。
【請求項１２】
前記現像剤を担持するための現像剤担持体と、
請求項１から１１のいずれか１項に記載の現像剤容器と、を有することを特徴とする現像装置。
【請求項１３】
像担持体と
請求項１から１１のいずれか１項に記載の現像剤容器又は請求項１２記載の現像装置のうちの少なくとも１つ有することを特徴とするプロセスカートリッジ。
【請求項１４】
請求項１から１１のいずれか１項に記載の現像剤容器、請求項１２記載の現像装置、請求項１３記載のプロセスカートリッジのうちの少なくとも１つを有し、記録材に画像を形成することを特徴とする画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
そこで、本発明は、
現像剤を収容し、開口から現像剤を排出可能な容器と、
前記開口を封止する封止部材と、
回転可能に支持され、前記封止部材を前記容器から剥離することにより前記開口を開封するための開封部材と、
前記封止部材と前記開封部材に挟まれる位置関係で、前記開封部材の取り付け部に取り付けられるシート部材とを有し、
前記封止部材は、前記現像剤を担持する現像剤担持体と接する当接面を有し、
前記シート部材は、前記封止部材が前記容器と接する際に、前記封止部材の前記当接面と反対側の面と接する現像剤容器を提供するものである。